

使用説明書

ドライバーインストールガイド

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『はじめにお読みください』「安全上のご注意」をお読みください。

1.はじめに	3
使用する環境にソフトウェアをインストールする.....	3
CD-ROM 収録ソフトウェア	5
プリンタードライバー.....	5
TWAIN ドライバー	7
PC FAX ドライバー	7
OS X で使用するときの注意	8
英語環境で使用するときの注意.....	9
2.プリンタードライバーをインストールする.....	11
接続方法を確認する.....	11
ネットワーク接続で使用する.....	11
ローカル接続で使用する.....	12
おすすめインストールでインストールする.....	13
ネットワーク接続環境でプリンタードライバーをインストールする.....	15
ポートを指定してインストールする.....	16
Windows プリントサーバーを使用する	22
ローカル接続環境でプリンタードライバーをインストールする.....	24
USB で接続する	25
オプション構成や用紙の設定をする.....	27
双方向通信を有効にする.....	27
手動でオプション構成や用紙を設定する.....	27
HDI ドライバーをインストールする	31
3.スキャナードライバーをインストールする.....	33
TWAIN ドライバーをインストールする	33
4.FAX ドライバーをインストールする	35
PC FAX ドライバーをインストールする	35
プリンタードライバーと同じポートを指定する.....	35
ポートを指定して PC FAX ドライバーをインストールする.....	36
PC FAX ドライバーのプロパティを設定する	38
印刷設定をする	38
オプション構成を設定する.....	39
5.困ったときは	42
インストールに失敗したとき.....	42
USB 接続がうまくいかないとき	44
6.OS X にプリンタードライバーをインストールする	46

PPD ファイルをインストールする	46
プリンターを登録する.....	48
オプション構成を設定する.....	49
7. 付録	50
ドライバーを更新・削除する.....	50
ドライバーを更新する.....	50
ドライバーを削除する.....	51
商標	53
索引	55

1. はじめに

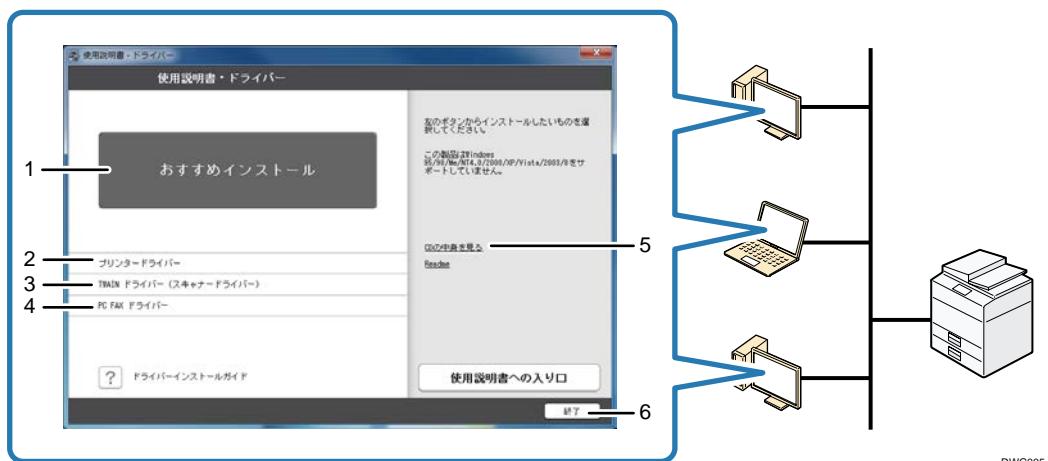
付属の CD-ROM に収録されているソフトウェアについて説明します。

使用する環境にソフトウェアをインストールする

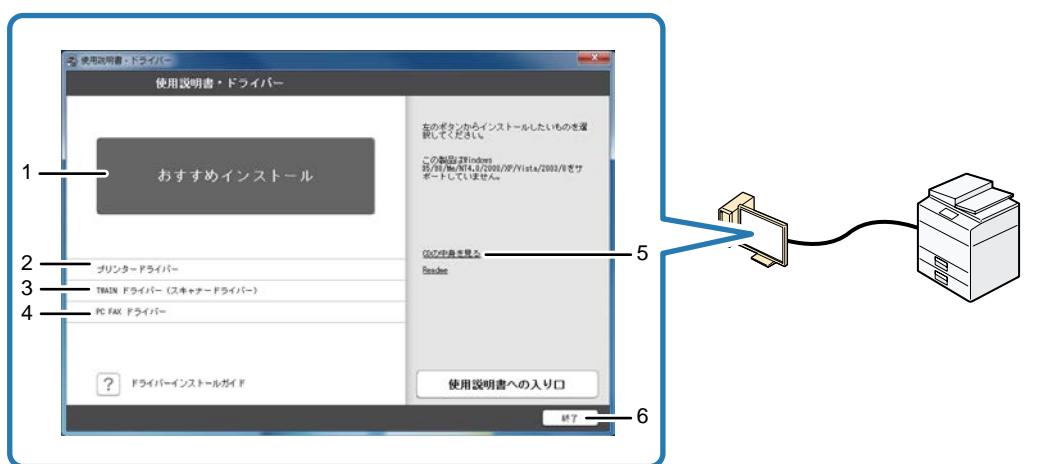
本機とコンピューターを接続し、プリンターやスキャナー、ファクス機能を使用するには、付属の CD-ROM から各種ソフトウェアのインストールが必要です。

付属の CD-ROM を使用するコンピューターにセットすると、インストーラーが自動的に起動（オートラン）し、各種ソフトウェアをインストールできます。

ネットワーク接続



ローカル接続



1. 推奨インストール

RPCS プリンタードライバーのインストールと同時に、本機との接続設定をします。

詳しくは、P. 13 「おすすめインストールでインストールする」を参照してください。

1. はじめに

2. プリンタードライバー

RPCS プリンタードライバー、RP-GL/2 プリンタードライバー、PostScript 3 プリンタードライバーをインストールします。

詳しくは、P. 15 「ネットワーク接続環境でプリンタードライバーをインストールする」または P. 24 「ローカル接続環境でプリンタードライバーをインストールする」を参照してください。

3. TWAIN ドライバー（スキャナードライバー）

TWAIN 対応のアプリケーションから直接画像を読み込める TWAIN ドライバー（スキャナードライバー）をインストールします。

詳しくは、P. 33 「TWAIN ドライバーをインストールする」を参照してください。

4. PC FAX ドライバー

あて先を指定するだけで直接ファクス送信ができ、作業効率向上とペーパーレスが実現できる PC FAX ドライバー、あて先表編集ツール、MFP アドレス帳取得ツール、送付状エディターをまとめてインストールします。

詳しくは、P. 35 「PC FAX ドライバーをインストールする」を参照してください。

5. CD の中身を見る

エクスプローラーを起動し、CD-ROM のフォルダー構成が表示されます。

6. 終了

インストーラーを終了します。

↓ 補足

- オートランプログラムを使用してインストールするときは、管理者権限が必要です。 Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。アクセス権の詳細は、Windows のヘルプを参照してください。
- OS の設定によっては、オートランプログラムが起動しないことがあります。そのときは、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」を起動してください。

CD-ROM 収録ソフトウェア

付属の CD-ROM 「使用説明書・ドライバー」に収録されているドライバーやソフトウェアについて説明します。

 補足

- 対象 OS の最新情報は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Readme.txt」ファイルを参照してください。
- Windows ターミナルサービスおよび Citrix XenApp/XenDesktop の最新情報は、販売店にご確認ください。
- 使用するコンピューターの Windows OS が、32bit または 64bit のどちらなのかを確認する方法は、Microsoft のホームページを参照してください。

プリンタードライバー

プリンターから印刷するのに必要なドライバーです。以下のプリンタードライバーやソフトウェアは付属の CD-ROM に収録されています。

OS * ¹	プリンター言語		
	RPCS	RP-GL/2	PostScript 3
Windows 7 * ²	○	○	○
Windows 8.1 * ³	○	○	○
Windows 10 * ⁴	○	○	○
Windows Server 2008 * ⁵	○	○	○
Windows Server 2012 * ⁶	○	○	○
Windows Server 2016* ⁷	○	○	○
OS X * ⁸	-	-	○

*1 32/64bit の Windows OS に対応しています。

*2 Windows 7 Home Premium/Professional/Ultimate/Enterprise

*3 Windows 8.1/Pro/Enterprise

*4 Windows 10 Home/Pro/Enterprise/Education

1. はじめに

*5 Windows Server 2008 Standard/Enterprise、Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise

*6 Windows Server 2012 Foundation/Essentials/Standard、Windows Server 2012 R2 Foundation/Essentials/Standard

*7 Windows Server 2016 Standard/Essentials/Datacenter/MultiPoint Premium Server

*8 OS X 10.9 以降

RPCS ドライバー

高度なグラフィックス処理ができる Windows 環境に最適化されたプリンタードライバーです。多彩な機能とシンプルな操作性を提供します。

RP-GL/2 ドライバー（CAD 用）

- RP-GL/2 モードを使用して印刷するためのプリンタードライバーです。本ドライバーは CAD アプリケーションでの使用を目的としており、ワードプロセッサーや表計算、フォトレタッチ、ドローイング系などのアプリケーションでは使用できません。
- RP-GL/2 ドライバーは、ドライバーでの設定が操作部の設定よりも優先されます。
- CAD アプリケーション独自のドライバーを使用するときは、操作部で印刷条件を設定してください。印刷条件の設定方法は、『RP-GL/2&RTIFF』「印刷条件を設定する」を参照してください。

HDI ドライバー（CAD 用）

- HDI ドライバーは、CAD アプリケーションソフト AutoCAD シリーズで作成した図面ファイルを印刷するための専用ドライバーです。HDI ドライバーを使用すると、出力時に作成されるデータ量が減少し、高速に出力できます。
- HDI ドライバーは AutoCAD アプリケーションが起動している環境での使用を前提としています。事前に AutoCAD シリーズがインストールされている必要があります。
- 対応 AutoCAD アプリケーション
AutoCAD 2007、AutoCAD LT 2007、AutoCAD 2008 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2008、AutoCAD 2009 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2009 (32bit/64bit)、AutoCAD 2010 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2010 (32bit/64bit)、AutoCAD 2011 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2011 (32bit/64bit)、AutoCAD 2012 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2012 (32bit/64bit)、AutoCAD 2013 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2013 (32bit/64bit)、AutoCAD 2014 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2014 (32bit/64bit)、AutoCAD 2015 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2015 (32bit/64bit)、AutoCAD 2016 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2016 (32bit/64bit)、AutoCAD 2017 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2017 (32bit/64bit)

PostScript 3 ドライバー

- 本ドライバーを使用すると、プリンターを PostScript プリンターとして使用できます。Windows OS 用と OS X 用のドライバーを用意しています。
- OS X 用の PostScript 3 ドライバーは、QuickDrawGX には対応していません。

QuickDrawGX の機能を外して使用してください。

 **補足**

- プリンタードライバーのインストール方法は、P. 15「ネットワーク接続環境でプリンタードライバーをインストールする」、P. 24「ローカル接続環境でプリンタードライバーをインストールする」を参照してください。

TWAIN ドライバー

スキャナーから原稿を読み取るために必要なドライバーです。本機をネットワーク TWAIN スキャナーとして使用するために、インストールが必要です。

格納場所

X86¥DRIVERS¥TWAIN

対象 OS *1

Microsoft Windows 7/8.1/10 日本語版/英語版

Microsoft Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2/2016 日本語版/英語版

*1 64bit の Windows OS では、32bit の互換モードで動作します。

 **補足**

- TWAIN ドライバーのインストール方法は、P. 33「TWAIN ドライバーをインストールする」を参照してください。

PC FAX ドライバー

PC ファクス機能を使用するためのドライバーです。クライアント PC のアプリケーションから直接ファクス送信ができます。

格納場所

- Windows 32bit 版

X86¥DRIVERS¥PCFAX¥X86¥DISK1

- Windows 64bit 版

X64¥DRIVERS¥PCFAX¥X64¥DISK1

対象 OS

Microsoft Windows 7/8.1/10 日本語版

Microsoft Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2/2016 日本語版

 **補足**

- PC FAX ドライバーのインストール方法は、P. 35「PC FAX ドライバーをインストールする」を参照してください。

OS X で使用するときの注意

OS X 環境では本機の各機能に、以下の制約があります。

- スキャナー機能では、TWAIN ドライバーは使用できません。
- ファクス機能では、PC FAX ドライバーは使用できません。
- プリンター機能では、OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーを使用します。詳しくは、P. 46 「6. OS X にプリンタードライバーをインストールする」を参照してください。

英語環境で使用するときの注意

英語版 Windows 環境で、インストールしたドライバーまたはソフトウェアを使用できます。本機を使用する前に、下記の注意事項ならびにプリンタードライバーに付属の「Readme.txt」ファイルをよく読んでください。

 **重要**

- **RPCS プリンタードライバーは英語環境に対応しています。PostScript 3 プリンタードライバーは日本語環境だけに対応しています。**

動作環境

- Microsoft Windows 7 English
- Microsoft Windows 8.1 English
- Microsoft Windows 10 English
- Microsoft Windows Server 2008 English
- Microsoft Windows Server 2008 R2 English
- Microsoft Windows Server 2012 English
- Microsoft Windows Server 2012 R2 English
- Microsoft Windows Server 2016 English

使用にあたっての注意事項

- 接続環境

推奨ケーブルによるセントロニクス/USB 接続、もしくは OS 標準ポートや共有ポートでの出力をサポートしています。

また、ネットワークダイレクト印刷をサポートする以下のユーティリティー経由での出力は動作保証外です。注意してください。

- Multi Direct Print
- Port Navi
- プリンタードライバーのインストール方法

英語版 Windows 環境へのインストール方法は、以下のとおりです。

- USB 接続のときは Plug&Play
- その他のときは [Add a Printer] または [Add Printer]
- プリンタードライバーの機能について

日本国内機種または海外機種用のユーティリティー・ソフトウェアには対応していません。また、海外機種用のドライバーでは、日本国内機種への印刷はサポートしていません。本ドライバーでは、TrueType フォントをプリンター内蔵フォントに置換する機能はサポートしていません。

- お客様サポート

1. はじめに

お問い合わせは、日本語だけに対応しています。

2. プリンタードライバーをインストールする

プリンタードライバーのインストール方法を説明します。

本書では特にことわりのないかぎり、Windows 7 を例に説明します。

接続方法を確認する

本機は、ネットワーク接続またはローカル接続ができます。プリンタードライバーをインストールする前に、本機をどのように接続したかを確認します。

使用する接続方法でのインストール方法を参照し、プリンタードライバーをインストールしてください。

ネットワーク接続で使用する

ネットワーク接続では、Windows の印刷ポートを使用して本機へダイレクト印刷 (Peer-to-Peer ネットワーク)、またはサーバーを使用してクライアントから印刷するネットワークプリンターとして本機を使用します。

Windows の印刷ポートを使用する

使用する Windows によって使用できるポートが異なります。インターフェースは、イーサネットを使用します。

Windows 7/8.1/10、Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2/2016

接続方法	使用できるポート
▪ イーサネット	<ul style="list-style-type: none">▪ Standard TCP/IP ポート▪ IPP ポート▪ LPR ポート▪ WSD ポート

補足

- ポートを指定してドライバーをインストールする方法は、P. 16「ポートを指定してインストールする」を参照してください。

2. プリンタードライバーをインストールする

プリントサーバーを使用する

本機は Windows プリントサーバーを、ネットワークプリンターとして使用できます。

クライアントの OS	使用できるサーバー
<ul style="list-style-type: none">▪ Windows 7▪ Windows 8.1▪ Windows 10▪ Windows Server 2008/2008 R2▪ Windows Server 2012/2012 R2▪ Windows Server 2016	<ul style="list-style-type: none">▪ Windows 7 プリントサーバー▪ Windows 8.1 プリントサーバー▪ Windows 10 プリントサーバー▪ Windows Server 2008/2008 R2 プリントサーバー▪ Windows Server 2012/2012 R2 プリントサーバー▪ Windows Server 2016 プリントサーバー

 **補足**

- プリントサーバーを使用したドライバーのインストール方法は、P. 22 「Windows プリントサーバーを使用する」を参照してください。

ローカル接続で使用する

ローカル接続には、USB 接続があります。

 **補足**

- 接続環境に沿ったドライバーのインストール方法は、P. 24 「ローカル接続環境でプリンタードライバーをインストールする」を参照してください。

おすすめインストールでインストールする

「おすすめインストール」は、プリンタードライバーのインストールと、本機への接続が簡単に設定できます。本機が TCP/IP を使用しているネットワークに接続されていて、IP アドレスが設定されているときは、RPCS プリンタードライバーのインストールと同時に、ポートの設定をするので、とても便利です。ポートは Standard TCP/IP ポートが設定されます。

★ 重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

- インストーラー画面で [おすすめインストール] をクリックします。
- 「使用許諾」ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意するときは [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。
- [次へ] をクリックします。
- おすすめインストールをする機種を選択します。
- [インストール] をクリックします。
- ポートを設定する画面が表示されたときは、ポートを設定して [次へ] をクリックします。
- 必要に応じて、ユーザーコードや通常使用するプリンター、共有プリンターを設定します。
- [完了] をクリックします。
インストールを開始します。
- [プリンタードライバーの導入] ダイアログでファイルのコピーが完了したら、[OK] をクリックします。
- [オプション構成] タブで機器のオプション構成や用紙を設定します。
インストール後でもオプション構成や用紙の設定はできます。詳しくは、P. 27 「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。
- 設定が完了したら、[OK] をクリックします。
- インストールが完了したら、[完了] をクリックします。

↓ 補足

- ドライバーのインストール中に、[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示されたときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- ドライバーのインストール中に、[Windows セキュリティ] ダイアログが表示されたときは、[このドライバー ソフトウェアをインストールします] をクリックします。

2. プリンタードライバーをインストールする

- Windows 8.1/10 または Windows Server 2012/2012 R2/2016 のときは、[自動再生] ダイアログが数秒間しか表示されません。[自動再生] ダイアログが消えたときは、以下の手順で CD-ROM を再生してください。
 - Windows Server 2012
 1. チャームバーで [検索] をクリックし、[コンピューター] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。
 - Windows 8.1、Windows Server 2012 R2
 1. デスクトップ画面で [スタート] ボタンを右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。
 - Windows 10、Windows Server 2016
 1. デスクトップ画面で [スタート] ボタンを右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。

ネットワーク接続環境でプリンタードライバーをインストールする

★ 重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

↓ 補足

- ドライバーのインストール中に、[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示されたときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- ドライバーのインストール中に、[Windows セキュリティ] ダイアログが表示されたときは、[このドライバー ソフトウェアをインストールします] をクリックします。
- 「新しいドライバーが既に導入されているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示されたときは、P. 42 「インストールに失敗したとき」を参照してください。
- Windows 8.1/10 または Windows Server 2012/2012 R2/2016 のときは、[自動再生] ダイアログが数秒間しか表示されません。[自動再生] ダイアログが消えたときは、以下の手順で CD-ROM を再生してください。
 - Windows Server 2012
 - チャームバーで [検索] をクリックし、[コンピューター] をクリックします。
 - 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。
 - Windows 8.1、Windows Server 2012 R2
 - デスクトップ画面で [スタート] ボタンを右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。
 - 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。
 - Windows 10、Windows Server 2016
 - デスクトップ画面で [スタート] ボタンを右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。
 - 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。

2. プリンタードライバーをインストールする

ポートを指定してインストールする

ポートを指定してプリンタードライバーをインストールします。使用するポートでのインストール方法をお読みください。

ポートの種類	ドライバーの種類	参照先
Standard TCP/IP ポート	[RPCS] [RP-GL/2] [PS3]	P. 16 「Standard TCP/IP ポートを使用する」
IPP ポート	[RPCS] [RP-GL/2] [PS3]	P. 17 「IPP ポートを使用する」
LPR ポート	[RPCS] [RP-GL/2] [PS3]	P. 18 「LPR ポートを使用する」
WSD ポート	[RPCS] [RP-GL/2] [PS3]	P. 19 「WSD ポートを使用する」

Standard TCP/IP ポートを使用する

[RPCS] [RP-GL/2] [PS3]

1. [プリンタードライバー] をクリックします。
2. 「使用許諾」ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意するときは [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。
3. 使用するドライバーを選択し、[次へ] をクリックします。
4. [新しいポートを作成する] を選択し、[次へ] をクリックします。
5. [Standard TCP/IP Port] を選択し、[次へ] をクリックします。
6. [次へ] をクリックします。
7. 機器名または本機のアドレスを入力し、[次へ] をクリックします。
8. 使用する機器を選択します。
9. [完了] をクリックします。
RP-GL/2、PostScript 3 プリンタードライバーをインストールしたときは、ここでインストールが完了です。
10. [プリンタードライバーの導入] ダイアログでファイルのコピーが完了したら、[OK] をクリックします。
11. [オプション構成] タブで機器のオプション構成や用紙を設定します。
インストール後でもオプション構成や用紙の設定はできます。詳しくは、P. 27 「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。
12. 設定が完了したら、[OK] をクリックします。

ネットワーク接続環境でプリンタードライバーをインストールする

13. インストールが完了したら、パソコンを再起動させるタイミングを選択し、[完了] をクリックします。

IPP ポートを使用する

[RPCS] [RP-GL/2] [PS3]

1. [スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows 8.1 または Windows Server 2012/2012 R2 のときは、デスクトップ画面のチャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

Windows 10 または Windows Server 2016 のときは、[スタート] ボタンを右クリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

2. [プリンターの追加] をクリックします。

Windows 8.1/10 または Windows Server 2012/2012 R2/2016 のときは、手順 4 に進みます。

3. [ネットワーク、ワイヤレスまたはBluetooth プリンターを追加します] をクリックします。

Windows 10 または Windows Server 2016 のときは、[プリンターが一覧にない場合] をクリックします。

5. [共有プリンターを名前で選択する] を選択し、ボックスに「http:// (本機の IP アドレス) /printer」または「http:// (本機の IP アドレス) /ipp」と入力します。

6. [次へ] をクリックします。

7. [ディスク使用...] をクリックします。

8. [参照...] をクリックし、ドライバーの収録先を指定します。

ここではドライバーの INF ファイルを指定します。

CD-ROM ドライブが D: のときは、以下のフォルダーに収録されています。

- RPCS
 - 32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPCS\X86\DISK1
 - 64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPCS\X64\DISK1
- RP-GL/2
 - 32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPGL2\X86\DISK1
 - 64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPGL2\X64\DISK1
- PostScript 3
 - 32bit 版 D:\X86\DRIVERS\PS\X86\DISK1

2. プリンタードライバーをインストールする

64bit 版 D:\X64\DRIVERS\PS\X64\DISK1

9. [OK] をクリックします。
10. [プリンタの追加ウィザード] でインストールするプリンターを選択し、[OK] をクリックします。
11. [次へ] をクリックします。
12. 必要に応じて、選択したプリンターを通常使用するプリンターに設定し、[完了] をクリックします。

LPR ポートを使用する

[RPCS] [RP-GL/2] [PS3]

1. [プリンタードライバー] をクリックします。
2. 「使用許諾」ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意するときは [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。
3. 使用するドライバーを選択し、[次へ] をクリックします。
4. [新しいポートを作成する] を選択し、[次へ] をクリックします。
5. [LPR Port] を選択し、[次へ] をクリックします。
「LPR Port」が表示されないときは、Windows のヘルプを参照して LPR ポートを設定します。
6. [LPD を提供しているサーバーの名前またはアドレス:] ボックスに、本機の IP アドレスを入力します。
7. [サーバーのプリンターナー名または印刷キュー:] ボックスに「lp」と入力し、[OK] をクリックします。
8. [ポート:] に「(本機の IP アドレス) :lp」が表示されていることを確認します。
9. 使用する機器を選択します。
10. 必要に応じて、ユーザーコードや通常使用するプリンター、共有プリンターを設定します。
11. [完了] をクリックします。
RP-GL/2、PostScript 3 プリンタードライバーをインストールしたときは、ここでインストールが完了です。
12. [プリンタードライバーの導入] ダイアログでファイルのコピーが完了したら、[OK] をクリックします。
13. [オプション構成] タブで機器のオプション構成や用紙を設定します。
インストール後でもオプション構成や用紙の設定はできます。詳しくは、P. 27「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。
14. 設定が完了したら、[OK] をクリックします。

ネットワーク接続環境でプリンタードライバーをインストールする

15. インストールが完了したら、パソコンを再起動させるタイミングを選択し、[完了] をクリックします。

WSD ポートを使用する

[RPCS] [RP-GL/2] [PS3]

★ 重要

- WSD ポートは、Windows 7/8.1/10、Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2/2016 で使用できます。
- 本機とコンピューターが異なるネットワークセグメントに接続されているときや、Windows の「ネットワーク探索」が無効になっているときは、本機を検出できません。詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

Windows Server 2008

1. [スタート] ボタンをクリックし、[ネットワーク] をクリックします。
[ネットワーク] ウィンドウが表示され、機器の検索が自動的に始まります。
2. 本機のプリンターアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [インストール] をクリックします。
3. [ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）] をクリックします。
4. [オンラインで検索しません] をクリックします。

使用する OS によっては、この操作が必要ないことがあります。そのときは、次の手順に進みます。

5. [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）] をクリックします。
6. [参照] をクリックし、ドライバーの収録先を指定します。

ここではドライバーの INF ファイルを指定します。

CD-ROM ドライブが D: のときは、以下のフォルダーに収録されています。

- RPCS
32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPCS\X86\DISK1
64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPCS\X64\DISK1
- RP-GL/2
32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPGL2\X86\DISK1
64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPGL2\X64\DISK1
- PostScript 3
32bit 版 D:\X86\DRIVERS\PS\X86\DISK1
64bit 版 D:\X64\DRIVERS\PS\X64\DISK1

7. [次へ] をクリックします。
8. [閉じる] をクリックします。

2. プリンタードライバーをインストールする

9. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じます。

インストールが正常に終了すると、「WSD」から始まるポートを [印刷するポート] に指定したプリンターのアイコンが [デバイスとプリンター] ウィンドウに作成されます。

補足

- インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。再度インストールをするときは、[ネットワーク] ウィンドウで本機のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [アンインストール] を実行してください。

Windows 7、Windows Server 2008 R2

1. [スタート] メニューから [コンピューター] をクリックします。
2. [ネットワーク] をクリックします。
[ネットワーク] ウィンドウが表示され、機器の検索が自動的に始まります。
3. 本機のプリンターアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [インストール] をクリックします。
[デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。] と表示されたときは、メッセージを閉じて次の手順に進みます。
4. [スタート] メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。
5. [プリンターの追加] をクリックします。
6. [ローカルプリンターを追加します] をクリックします。
7. [既存のポートを使用:] が選択されていることを確認し、WSD ポートを選択します。
8. [次へ] をクリックします。
9. [ディスク使用...] をクリックします。
10. [参照...] をクリックし、ドライバーの収録先を指定します。

ここではドライバーの INF ファイルを指定します。

CD-ROM ドライブが D:\ のときは、以下のフォルダーに収録されています。

- RPCS
 - 32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPCS\X86\DISK1
 - 64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPCS\X64\DISK1
- RP-GL/2
 - 32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPGL2\X86\DISK1
 - 64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPGL2\X64\DISK1
- PostScript 3
 - 32bit 版 D:\X86\DRIVERS\PS\X86\DISK1
 - 64bit 版 D:\X64\DRIVERS\PS\X64\DISK1

11. [OK] をクリックします。
12. 使用する機器を選択し、[次へ] をクリックします。

ネットワーク接続環境でプリンタードライバーをインストールする

13. 画面の指示にしたがってインストールを続行します。

14. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じます。

インストールが正常に終了すると、「WSD」から始まるポートを [印刷するポート] に指定したプリンターのアイコンが [デバイスとプリンター] ウィンドウに作成されます。

補足

- インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。再度インストールをするときは、[ネットワーク] ウィンドウで本機のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [アンインストール] を実行してください。

Windows 8.1/10、Windows Server 2012/2012 R2/2016

1. [デバイスとプリンター] ウィンドウを開きます。

- Windows 8.1、Windows Server 2012/2012 R2
チャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- Windows 10、Windows Server 2016
[スタート] ボタンを右クリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

2. 任意の機器アイコンをクリックし、[プリントサーバープロパティ] をクリックします。

3. [ドライバー] タブをクリックし、[追加...] をクリックします。

4. [次へ] をクリックします。

5. [x64] (64bit) または [x86] (32bit) にチェックを付け、[次へ] をクリックします。

6. [ディスク使用...] をクリックします。

7. [参照...] をクリックして、ドライバーの収録先を指定します。

ここではドライバーの INF ファイルを指定します。

CD-ROM ドライブが D: のときは、以下のフォルダーに収録されています。

- RPCS
32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPCS\X86\DISK1
64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPCS\X64\DISK1
- RP-GL/2
32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPGL2\X86\DISK1
64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPGL2\X64\DISK1
- PostScript 3
32bit 版 D:\X86\DRIVERS\PS\X86\DISK1
64bit 版 D:\X64\DRIVERS\PS\X64\DISK1

2. プリンタードライバーをインストールする

8. [OK] をクリックします。
9. 使用する機器を選択し、[次へ] をクリックします。
10. [完了] をクリックします。
11. [閉じる] をクリックして、プリントサーバープロパティのウィンドウを閉じます。
12. [デバイスとプリンター] ウィンドウの [プリンターの追加] をクリックします。
13. [探しているプリンターはこの一覧にはありません] をクリックします。
14. [Bluetooth、ワイヤレス、またはネットワーク検出可能プリンターを追加する] を選択し、[次へ] をクリックします。
15. 使用する機器を選択し、[次へ] をクリックします。

Windows プリントサーバーを使用する

[RPCS] [RP-GL/2] [PS3]

 重要

- プリンタードライバーをインストールする前に、プリントサーバーを正しく設定してください。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Windows ネットワークプリンターを設定する」を参照してください。
1. [プリンタードライバー] をクリックします。
 2. 「使用許諾」ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意するときは [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。
 3. 使用するドライバーを選択し、[次へ] をクリックします。
 4. [新しいポートを作成する] を選択し、[次へ] をクリックします。
 5. [ネットワークプリンター] を選択し、[次へ] をクリックします。
 6. ネットワークツリーで、プリントサーバーとして使用するコンピューターの名前をダブルクリックします。
 7. インストールするプリンタードライバーを選択し、[OK] をクリックします。
 8. [ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。
 9. 使用する機器を選択します。
 10. 必要に応じて、ユーザーコードや通常使用するプリンター、共有プリンターを設定します。
 11. [完了] をクリックします。
- RP-GL/2、PostScript 3 プリンタードライバーをインストールしたときは、ここでインストールが完了です。
12. [プリンタードライバーの導入] ダイアログでファイルのコピーが完了したら、[OK] をクリックします。
 13. [オプション構成] タブで機器のオプション構成や用紙を設定します。

ネットワーク接続環境でプリンタードライバーをインストールする

インストール後でもオプション構成や用紙の設定はできます。詳しくは、P. 27「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。

14. 設定が完了したら、[OK] をクリックします。
15. インストールが完了したら、パソコンを再起動させるタイミングを選択し、[完了] をクリックします。

 補足

- ネットワークプリンターを使用するときは、クライアントに印刷通知されないことがあります。

2. プリンタードライバーをインストールする

ローカル接続環境でプリンタードライバーをインストールする

ローカル接続には USB 接続があります。

重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

補足

- ドライバーのインストール中に、[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示されたときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- ドライバーのインストール中に、[Windows セキュリティ] ダイアログが表示されたときは、[このドライバー ソフトウェアをインストールします] をクリックします。
- 「新しいドライバーが既に導入されているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示されたときは、P. 42「インストールに失敗したとき」を参照してください。
- Windows 8.1/10 または Windows Server 2012/2012 R2/2016 のときは、[自動再生] ダイアログが数秒間しか表示されません。[自動再生] ダイアログが消えたときは、以下の手順で CD-ROM を再生してください。
 - Windows Server 2012
 1. チャームバーで [検索] をクリックし、[コンピューター] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。
 - Windows 8.1、Windows Server 2012 R2
 1. デスクトップ画面で [スタート] ボタンを右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。
 - Windows 10、Windows Server 2016
 1. デスクトップ画面で [スタート] ボタンを右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。

ローカル接続環境でプリンタードライバーをインストールする USB で接続する

本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、プリンタードライバーをインストールする方法を説明します。

Windows Server 2008

1. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。
2. [ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）] をクリックします。
3. 使用するプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。
インストールを開始します。
4. [閉じる] をクリックします。
インストールが正常に終了すると、「USBXXX」を [印刷するポート] に指定したプリンターが [プリンタ] ウィンドウに作成されます。

Windows 7/8.1/10、Windows Server 2008 R2/2012/2012 R2/2016

1. [デバイスとプリンター] ウィンドウを開きます。
 - Windows 7、Windows Server 2008 R2
[スタート] メニューで [デバイスとプリンター] をクリックします。
 - Windows 8.1、Windows Server 2012/2012 R2
チャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
 - Windows 10、Windows Server 2016
[スタート] ボタンを右クリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
2. 任意の機器アイコンをクリックし、[プリントサーバープロパティ] をクリックします。
3. [ドライバー] タブをクリックし、[追加...] をクリックします。
4. [次へ] をクリックします。
5. [x64] (64bit) または [x86] (32bit) にチェックを付け、[次へ] をクリックします。
6. [ディスク使用...] をクリックします。
7. [参照...] をクリックして、ドライバーの収録先を指定します。
ここではドライバーの INF ファイルを指定します。
CD-ROM ドライブが D:\ のときは、以下のフォルダーに収録されています。
 - RPCS
32bit 版 D:\¥X86¥DRIVERS¥RPCSYX86¥DISK1

2. プリンタードライバーをインストールする

64bit 版 D:\¥X64¥DRIVERS¥RPCS¥X64¥DISK1

- RP-GL/2

32bit 版 D:\¥X86¥DRIVERS¥RPGL2¥X86¥DISK1

64bit 版 D:\¥X64¥DRIVERS¥RPGL2¥X64¥DISK1

- PostScript 3

32bit 版 D:\¥X86¥DRIVERS¥PS¥X86¥DISK1

64bit 版 D:\¥X64¥DRIVERS¥PS¥X64¥DISK1

8. [OK] をクリックします。

9. 使用する機器を選択し、[次へ] をクリックします。

10. [完了] をクリックします。

11. [閉じる] をクリックして、プリントサーバープロパティのウィンドウを閉じます。

12. 本機の電源が切れていることを確認します。

13. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

14. 本機の電源を入れます。

インストールが正常に終了すると、「USBxxx」を [印刷するポート] に指定したプリンターが [デバイスとプリンター] ウィンドウに作成されます。

オプション構成や用紙の設定をする

パソコンと本機の間で双方向通信が働いていると、本機に装着されているオプション、セットされている用紙サイズや本機の状態を、パソコン側で自動的に取得できます。

双方向通信が働いていないときは、手動で本機に装着されているオプションや、セットされている用紙の情報をパソコンで設定します。

★ 重要

- プリンタードライバーを使用するときに、双方向通信または手動でオプションを設定する場合は、管理者権限が必要です。Administrator グループのメンバーとしてログオンしてください。

双方向通信を有効にする

双方向通信を有効にするには、下記の設定、条件が必要です。

ネットワーク接続

- Standard TCP/IP ポートを使用している。
- プリンタードライバーのプロパティ画面で、[ポート] タブにある [双方向サポートを有効にする] にチェックが入っていて、[プリンターポールを有効にする] にチェックが入っていない

ローカル接続

- パソコンが双方向通信に対応している
- 本機とパソコンが双方向通信に対応したインターフェースケーブルか、USB インターフェースケーブルで接続されている
- プリンタードライバーのプロパティ画面で、[ポート] タブにある [双方向サポートを有効にする] にチェックが入っている

手動でオプション構成や用紙を設定する

手動で本機に装着されているオプションや、セットされている用紙の情報をパソコンで設定する方法を説明します。

RPCS、PostScript 3 プリンタードライバー

1. プリントウィンドウを開きます。

- Windows Server 2008 :
[スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。[ハードウェアとサウンド] のカテゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。
- Windows 7、Windows Server 2008 R2 :
[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。

2. プリンタードライバーをインストールする

- Windows 8.1、Windows Server 2012/2012 R2：
デスクトップ画面のチャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- Windows 10、Windows Server 2016：
[スタート] ボタンを右クリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

2. プリンターのプロパティを開きます。

- Windows Server 2008：
プリンターのアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- Windows 7/8.1/10、Windows Server 2008 R2/2012/2012 R2/2016：
プリンターのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。

3. [オプション構成] タブをクリックします。

[オプション構成] タブの項目がグレー表示になっていて選択できないときは、双方向通信が働いています。オプションの設定は必要ありません。

4. 「オプション選択」グループで、取り付けたオプションのボックスにチェックを付けます。

5. [給紙トレイ設定の変更...] をクリックします。

6. 紙トレイの設定を変更します。

- RPCS ドライバー：
給紙トレイごとに用紙のサイズ、種類、セット方向、自動トレイ選択の対象/対象外を設定し、[トレイ／サイズ設定の変更] をクリックします。
- PostScript 3 ドライバー：
給紙トレイごとに用紙サイズを設定し、[トレイ／サイズ設定の変更] をクリックします。

7. [OK] をクリックします。

8. [適用] をクリックします。

9. [OK] をクリックし、プロパティを閉じます。

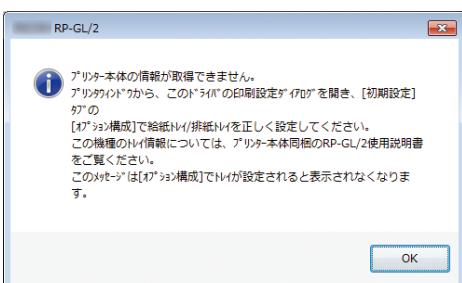
RP-GL/2 プリンタードライバー

1. プリンターウィンドウを開きます。

- Windows Server 2008：
[スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。[ハードウェアとサウンド] のカタゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。
- Windows 7、Windows Server 2008 R2：

オプション構成や用紙の設定をする

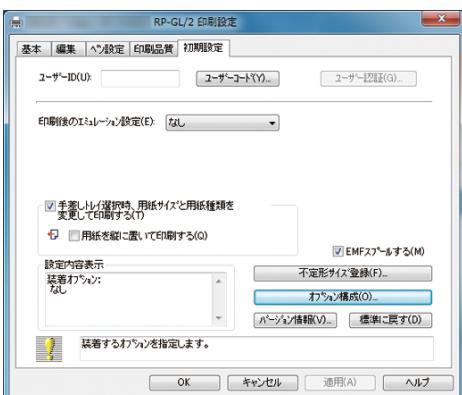
- [スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。
- Windows 8.1、Windows Server 2012/2012 R2：
デスクトップ画面のチャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
 - Windows 10、Windows Server 2016：
[スタート] ボタンを右クリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
2. プリンターの印刷設定を開きます。
- Windows 7/8.1/10、Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2/2016：
プリンターのアイコンを右クリックし、[印刷設定] をクリックします。
3. 初めてオプションセットアップするとき、またはトレイ設定をしないでオプションセットアップを終了するときは、確認のメッセージが表示されます。



[OK] をクリックします。

4. [初期設定] タブの [オプション構成...] をクリックします。

プリンタードライバーの設定画面を表示し、[初期設定] タブの表示画面で [オプション構成] から [オプション構成] ダイアログが表示されないときは、双方向通信が働いています。オプションセットアップは必要ありません。



5. [トレイ設定] ボックスで、取り付けたオプションを設定します。

2. プリンタードライバーをインストールする



6. [OK] をクリックし、[オプション構成] ダイアログを閉じます。

7. [OK] をクリックし、印刷設定を閉じます。

補足

- PostScript 3 プリンタードライバーで [Adobe PostScript] を使用するときは、[オプション構成] タブの「PostScript:」プルダウンメニューから [Adobe PostScript] を選択してください。
- 設定項目の機能説明など、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- 本機で設定できるオプションについては、『RP-GL/2&RTIFF』「本機の印刷設定」を参照してください。

HDI ドライバーをインストールする

ここでは、Windows 7 を例として説明しています。

★ 重要

- HDI ドライバーをインストールするには、あらかじめ AutoCAD シリーズがインストールされている必要があります。
- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- ドライバーのインストール中に、[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示されたときは、[続行] または [OK] をクリックします。詳細は Microsoft のホームページを参照してください。

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. [スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。
3. [ハードウェアとサウンド] をクリックします。
4. [Autodesk プロッタ管理] をダブルクリックします。
[Autodesk プロッタ管理] は AutoCAD シリーズがインストールされているときに表示されます。
5. [プロッタを追加ウィザード] をダブルクリックします。
6. [次へ] をクリックします。
7. [次へ] をクリックします。
8. [マイコンピュータ] を選択し、[次へ] をクリックします。
9. [ディスクを所有...] をクリックします。
10. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[閉じる] をクリックします。

11. お使いの AutoCAD バージョンに応じたプリンタードライバーを選択し、[開く] をクリックします。

CD-ROM ドライブが D:\ のとき、各プリンタードライバーは以下のフォルダに収録されています。

- AutoCAD 2007、AutoCAD LT 2007
D:\X86\DRIVERS\HDI\AC2007
- AutoCAD 2008、AutoCAD LT 2008(32bit OSのみ対応)、AutoCAD 2009、AutoCAD LT 2009(32bit OSのみ対応)
32-bit OS D:\X86\DRIVERS\HDI\AC2008\X86
64-bit OS D:\X86\DRIVERS\HDI\AC2008\X64
- AutoCAD 2010、AutoCAD LT 2010

2. プリンタードライバーをインストールする

32-bit OS D:\¥X86\¥DRIVERS\¥HDI\¥AC2010\¥X86

64-bit OS D:\¥X86\¥DRIVERS\¥HDI\¥AC2010\¥X64

- AutoCAD 2011、AutoCAD LT 2011、AutoCAD 2012、AutoCAD LT 2012

32-bit OS D:\¥X86\¥DRIVERS\¥HDI\¥AC2011\¥X86

64-bit OS D:\¥X86\¥DRIVERS\¥HDI\¥AC2011\¥X64

- AutoCAD 2013、AutoCAD LT 2013、AutoCAD 2014、AutoCAD LT 2014

32-bit OS D:\¥X86\¥DRIVERS\¥HDI\¥AC2013\¥X86

64-bit OS D:\¥X86\¥DRIVERS\¥HDI\¥AC2013\¥X64

- AutoCAD 2015、AutoCAD LT 2015

32-bit OS D:\¥X86\¥DRIVERS\¥HDI\¥AC2015\¥X86

64-bit OS D:\¥X86\¥DRIVERS\¥HDI\¥AC2015\¥X64

- AutoCAD 2016、AutoCAD LT 2016

32-bit OS D:\¥X86\¥DRIVERS\¥HDI\¥AC2016\¥X86

64-bit OS D:\¥X86\¥DRIVERS\¥HDI\¥AC2016\¥X64

- AutoCAD 2017、AutoCAD LT 2017

32-bit OS D:\¥X86\¥DRIVERS\¥HDI\¥AC2017\¥X86

64-bit OS D:\¥X86\¥DRIVERS\¥HDI\¥AC2017\¥X64

インストールするドライバーとお使いの AutoCAD のバージョンが一致しているか確認してください。一致していないときはエラーメッセージが表示されます。その場合は、HDI ドライバーの「Readme」ファイルを参照してください。

12. [製造元] でお使いの機種の製造元を、[モデル] でお使いの機種名を選択し、[次へ] をクリックします。

13. [プロッタを追加ウィザード] にしたがって、インストールを完了してください。

プリンタードライバーの各画面の説明や、いろいろな印刷方法については、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプを表示させるには、プリンタードライバーの設定画面の [ヘルプ] ボタンをクリックします。

 補足

- インストールの途中で AutoCAD のバージョンと異なるバージョンのドライバーを指定した場合、インストール作業が終了していなくても、正しいバージョンのドライバーをインストールできない場合があります。この場合は異なるバージョンのドライバーを削除してください。削除方法については、HDI ドライバーの「Readme」ファイルを参照してください。

3. スキャナードライバーをインストールする

TWAIN ドライバーのインストール方法を説明します。

本書では特にことわりのないかぎり、Windows 7 を例に説明します。

TWAIN ドライバーをインストールする

TWAIN スキャナーを使用するには、付属の CD-ROM に収録されている TWAIN ドライバーをクライアントコンピューターにインストールします。

1. インストーラー画面で [TWAIN ドライバー (スキャナードライバー)] をクリックします。
2. TWAIN ドライバーのインストーラーが起動します。メッセージにしたがって操作してください。
3. インストールが完了したときに、クライアントコンピューターを再起動するように指示するメッセージが表示されることがあります。そのときは、クライアントコンピューターを再起動してから操作を続けてください。

 補足

- Windows 8.1/10 または Windows Server 2012/2012 R2/2016 のときは、[自動再生] ダイアログが数秒間しか表示されません。[自動再生] ダイアログが消えたときは、以下の手順で CD-ROM を再生してください。
 - Windows Server 2012
 1. チャームバーで [検索] をクリックし、[コンピューター] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。
 - Windows 8.1、Windows Server 2012 R2
 1. デスクトップ画面で [スタート] ボタンを右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。
 - Windows 10、Windows Server 2016
 1. デスクトップ画面で [スタート] ボタンを右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。

3. スキャナードライバーをインストールする

2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、
Setup.exe を起動します。
- インストールが終わると、[スタート] メニューの [プログラム]、[すべてのプログラム]、[アプリ] または [すべてのアプリ] に TWAIN ドライバーのフォルダーが作成され、ここからヘルプを表示できます。
 - 「Readme.txt」には、TWAIN スキャナーを使用するときの注意事項などが書かれているので、使用する前に必ずお読みください。
 - TWAIN スキャナーを使用するには、TWAIN 対応アプリケーションをクライアントコンピューターにインストールしてください。
 -

4. FAX ドライバーをインストールする

PC FAX ドライバーのインストール方法を説明します。

本書では特にことわりのないかぎり、Windows 7 を例に説明します。

PC FAX ドライバーをインストールする

PC FAX ドライバーはパソコンからのファクス送信に必要なドライバーです。インストールすると、あて先表編集ツール、MFP アドレス帳取得ツールおよび PC FAX 送付状エディターも同時にインストールされます。



- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

プリンタードライバーと同じポートを指定する

「既にポートが使用されています」のエラーメッセージが表示され、PC FAX ドライバーがインストールできないことがあります。既にプリンタードライバーがインストール済みのときは、PC FAX ドライバーとプリンタードライバーのポートを合わせてください。

- インストーラー画面で [PC FAX ドライバー] をクリックします。
- 「使用許諾」ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意するときは [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。
- [プリンタ名 : <PC FAX>] のチェックボックスにチェックを付けます。
- [ポート:] をクリックします。
- ['ポート' の設定の変更] のドロップダウンリストから、プリンタードライバーと同じポートを選択します。
- 必要に応じて、ユーザーコードや通常使用するプリンター、共有プリンターを設定します。
- [完了] をクリックします。
インストールを開始します。
- インストールが完了したら、コンピューターを再起動させるタイミングを選択して、[完了] をクリックします。



- ドライバーのインストール中に、[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示されたときは、[続行] または [はい] をクリックします。

4. FAX ドライバーをインストールする

- ドライバーのインストール中に、[Windows セキュリティ] ダイアログが表示されたときは、[このドライバー ソフトウェアをインストールします] をクリックします。
- Windows 8.1/10 または Windows Server 2012/2012 R2/2016 のときは、[自動再生] ダイアログが数秒間しか表示されません。[自動再生] ダイアログが消えたときは、以下の手順で CD-ROM を再生してください。
 - Windows Server 2012
 1. チャームバーで [検索] をクリックし、[コンピューター] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。
 - Windows 8.1、Windows Server 2012 R2
 1. デスクトップ画面で [スタート] ボタンを右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。
 - Windows 10、Windows Server 2016
 1. デスクトップ画面で [スタート] ボタンを右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。

ポートを指定して PC FAX ドライバーをインストールする

プリンタードライバーとは異なるポートを指定して、PC FAX ドライバーをインストールするときは、プリンタードライバーのインストール方法を参照してください。

一部操作や説明が異なる部分は、PC FAX ドライバー用に読み替えて、ドライバーをインストールしてください。

インストール方法の参照先	該当する読み替え対象
P. 16 「Standard TCP/IP ポートを使用する」	1、2
P. 17 「IPP ポートを使用する」	3
P. 18 「LPR ポートを使用する」	1、2

読み替え対象リスト

PC FAX ドライバーをインストールする

読み替え対象	プリンタードライバーの操作/説明	PC FAX ドライバーの操作/説明
1: インストーラーの実行ボタン名	[プリンタードライバー] または [プリンタードライバー(オプション)]	[PC FAX ドライバー]
2: [プリンタードライバーの導入] ダイアログでの操作	使用する機器のチェックボックスにチェックを付けます。	[プリンターナンバー : <PC FAX>] を選択し、設定項目を開きます。
3: ドライバーの収録先	プリンタードライバーの収録先を記載しています。	PC FAX ドライバーの収録先は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 32bit 版 X86¥DRIVERS¥PCFAX¥X86¥DISK1 ▪ 64bit 版 X64¥DRIVERS¥PCFAX¥X64¥DISK1

4. FAX ドライバーをインストールする

PC FAX ドライバーのプロパティを設定する

補足

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- PC FAX ドライバーを選択する方法は、使用する OS によって異なることがあります。詳しくは Windows のヘルプを参照してください。

印刷設定をする

送信する原稿のサイズや画質などを設定します。

1. プリンターウィンドウを開きます。

- Windows Server 2008 :
[スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。[ハードウェアとサウンド] のカテゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。
- Windows 7、Windows Server 2008 R2 :
[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。
- Windows 8.1、Windows Server 2012/2012 R2 :
デスクトップ画面のチャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- Windows 10、Windows Server 2016 :
[スタート] ボタンを右クリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

2. 「PC FAX」の印刷設定を開きます。

- Windows 7/8.1/10、Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2/2016 :
「PC FAX」アイコンを右クリックし、[印刷設定] をクリックします。

3. 必要に応じて印刷設定を変更します。

PC FAX ドライバーのプロパティを設定する



- 原稿サイズ :
 - 原稿方向 :
 - 紙トレイ :
 - 解像度 :
 - EMF スプール
4. [適用] をクリックします。
5. [OK] をクリックします。

オプション構成を設定する

1. プリンターウィンドウを開きます。

- Windows Server 2008 :
[スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。[ハードウェアとサウンド] のカテゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。
- Windows 7、Windows Server 2008 R2 :
[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。
- Windows 8.1、Windows Server 2012/2012 R2 :
デスクトップ画面のチャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- Windows 10、Windows Server 2016 :
[スタート] ボタンを右クリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

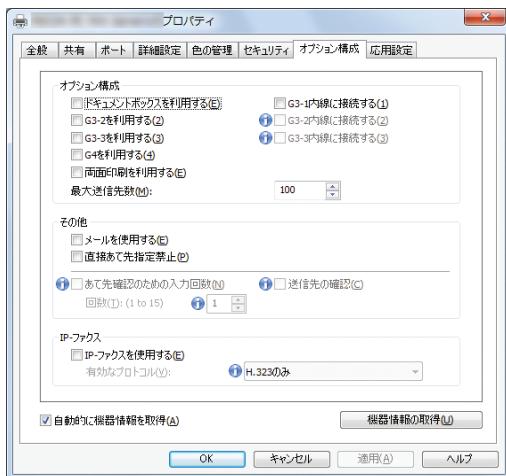
4. FAX ドライバーをインストールする

2. 「PC FAX」のプロパティを開きます。

- Windows 7/8.1/10、Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2/2016：
「PC FAX」アイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。

3. [オプション構成] タブをクリックします。

4. 本機に接続されているオプションの項目にチェックマークを付けます。

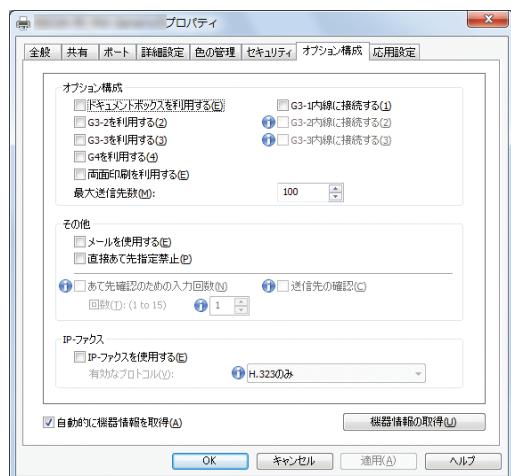


5. [適用] をクリックします。

6. [OK] をクリックします。

オプション構成画面について

オプション構成画面には、オプション構成以外に下記のような項目の設定が含まれています。



その他

- メールを使用する
PC ファクスでインターネットファクスを使用するときは、このチェックボックスにチェックマークを付けます。
- 直接あて先指定禁止

機器本体で直接あて先指定を禁止するときは、このチェックボックスにチェックマークを付けます。

- あて先確認のための入力回数

あて先を直接指定したときに、あて先確認のために再入力させる回数を指定します。
1~15 の範囲で指定できます。

- 送信先の確認

このチェックボックスにチェックマークを付けると、送信前に送信先の確認をします。

IP-ファクス

IP-ファクスを使用するときは、「IP-ファクスを使用する」のチェックボックスにチェックマークを付け、「有効なプロトコル：」から使用するプロトコルを選択します。

 補足

- 本機に装着しているオプションと異なる設定をすると、正常に機能しないことがあります。
- 本機をネットワーク接続しているときは、自動的にオプション構成を取得します。設定が本機のオプション構成と異なっているときは、[機器情報の取得] をクリックします。

5. 困ったときは

ドライバーが正しくインストールできない、USB 接続がうまくいかないときの対処方法を説明します。

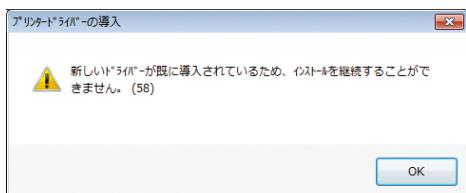
インストールに失敗したとき

ドライバーのインストールに失敗したときやエラーメッセージが表示されたときの対処方法を説明します。

おすすめインストールに失敗したときは、P. 16 「Standard TCP/IP ポートを使用する」を参照して再度インストールしてください。

また、下記のような (58) のメッセージ、または (34) のメッセージが表示されたときは、オートランプログラムによるインストールはできません。[プリンターの追加] または [プリンタのインストール] でインストールしてください。

(58) のメッセージは、インストールされているプリンタードライバよりも、古いバージョンのプリンタードライバーをインストールしようとしたときに表示されます。



1. プリンターウィンドウを開きます。

- Windows Server 2008 :
[スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。[ハードウェアとサウンド] のカテゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。
- Windows 7、Windows Server 2008 R2 :
[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。
- Windows 8.1、Windows Server 2012/2012 R2 :
デスクトップ画面のチャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- Windows 10、Windows Server 2016 :
[スタート] ボタンを右クリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

インストールに失敗したとき

2. [プリンターの追加] または [プリンタのインストール] をクリックします。
3. 画面の指示にしたがってインストールを進めます。

ここではドライバーの INF ファイルを指定します。

CD-ROM ドライブが D: のときは、以下のフォルダーに収録されています。

- RPCS
 - 32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPCS\X86\DISK1
 - 64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPCS\X64\DISK1
- RP-GL/2
 - 32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPGL2\X86\DISK1
 - 64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPGL2\X64\DISK1
- PostScript 3
 - 32bit 版 D:\X86\DRIVERS\PS\X86\DISK1
 - 64bit 版 D:\X64\DRIVERS\PS\X64\DISK1

補足

- Windows Server 2008 R2/2012/2012 R2/2016 のときは、Windows 64bit 版プリンタードライバーをインストールしてください。

5. 困ったときは

USB 接続がうまくいかないとき

USB 接続がうまくいかないときの対処方法を説明します。

状態	原因	対処方法
本機が自動認識されない。	USB ケーブルの接続に問題があります。	パソコンから USB ケーブルを抜き、本機の主電源をいったん「Stand by」にしたあとに「On」にします。本機が起動したのを確認してから USB ケーブルを接続してください。
本機が自動認識されない。	Windows が自動的に USB 接続の設定をしてしまった。	不正なデバイスとして認識していないか、確認してください。 Windows のデバイスマネージャで、不正なデバイスを削除してください。不正なデバイスは、アイコンに黄色の[!]がついたり、黄色の[?]がついたりしています。必要なデバイスを削除しないよう注意してください。 Windows 7/8.1/10、Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2/2016 を使用するときは、デバイスマネージャーの「ユニバーサルシリアルバスコントローラー」に不正なデバイスが表示されます。

USB 接続がうまくいかないとき

状態	原因	対処方法
USB ケーブルを挿しても本機が認識しない。	本機の電源が切れているときは、USB ケーブルを接続しても本機が認識しないことがあります。	パソコンから USB ケーブルを抜き、本機の主電源をいったん切ってから、再度電源を入れます。本機が起動したのを確認してから USB ケーブルを接続してください。

6. OS X にプリンタードライバーをインストールする

本機に同梱の CD-ROM から、PPD ファイルをインストールします。

インストール後は、プリンター固有の機能を使用するための設定をします。プリンタードライバーは、OS に付属のプリンタードライバーを使用するため、インストールは必要ありません。

PPD ファイルをインストールする

OS X で印刷するときに、プリンター固有の機能を使用するために PPD ファイルをインストールします。

★ 重要

- PPD ファイルをインストールするときは、管理者としてログインしてください。

1. CD-ROM の [Mac OS X] フォルダーをダブルクリックします。
2. [MacOSX PPD Installer] フォルダーをダブルクリックします。
3. パッケージファイルをダブルクリックします。
インストールの確認画面が表示されたときは、[続ける] をクリックします。
4. 「はじめに」が表示されたら [続ける] をクリックします。
5. 「使用許諾契約」が表示されたら、内容をよく読み、[続ける] をクリックします。
6. [同意する] または [同意します] をクリックします。
[同意しない] または [同意しません] をクリックすると、インストールしないで終了します。
7. インストール先の選択画面が表示されたときは、インストール先を選択して、[続ける] をクリックします。



PPD ファイルは以下の場所に自動的にインストールされます。

/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/

PPD ファイルをインストールする

8. [インストール] をクリックします。
9. 認証画面が表示されたら、名前とパスワードを入力して、[OK] または [ソフトウェアをインストール] をクリックします。
10. インストールが完了したら、[閉じる] をクリックします。

プリンターを登録する

機器を使用するには、機器をプリントリストに登録します。

電源を入れた機器とコンピューターを接続した状態で以降の作業をしてください。

↓ 補足

- ネットワーク接続、USB 接続を使用するときは、機器とパソコンをケーブルで接続してください。
- プリントリストに多数のプリンタードライバーを組み込んでいると、すべての PPD ファイルが表示されないことがあります。
- Bonjour で接続するときは、エミュレーションが自動では切り替わりません。本機の操作部から、「エミュレーション検知」を「する」に設定するか、エミュレーションを「PS3」に切り替えてから印刷してください。エミュレーションの切り替えについては、『RP-GL/2&RTIFF』「プリンターの設定」を参照してください。
- OS X の操作方法は使用している OS のバージョンによって多少異なります。本書では OS X 10.11 を例に説明しています。

1. システム環境設定を起動します。
2. [プリンタとスキャナ] をクリックします。
3. 「+」ボタンをクリックします。

次に [プリンタまたはスキャナを追加...] が表示されたときはクリックします。

4. [デフォルト] をクリックします。
5. 検出された機器の一覧から、使用する機器を選択します。

「種類」の項目で、機器との接続の種類 (USB、Bonjour) が確認できます。

6. [ドライバ:] で使用する機器の PPD ファイルを選択します。

PPD ファイルが自動的に選択されないときは、[ソフトウェアを選択...] をクリックし、手動で使用する機器の PPD ファイルを指定します。PPD ファイルの格納先は、P. 46「PPD ファイルをインストールする」を参照してください。

7. [追加] をクリックします。
8. ドライバーのセットアップ中に [設定] をクリックすると、オプション構成を設定できます。詳しくは、P. 49「オプション構成を設定する」を参照してください。

8. システム環境設定を終了します。

オプション構成を設定する

1. システム環境設定を起動します。
2. [プリンタとスキャナ] をクリックします。
3. 機器の一覧から使用する機器を選択し、[オプションとサプライ...] をクリックします。
4. [オプション] をクリックします。
5. 必要に応じてオプションの構成を変更します。
6. [OK] をクリックします。
7. システム環境設定を終了します。

 補足

- インストールできるオプションが表示されないときは、PPD ファイルが正しく設定されていません。PPD ファイルが正しく指定されているか確認してください。
- OS X の操作方法は使用している OS のバージョンによって多少異なります。本書では OS X 10.11 を例に説明しています。
- [Adobe PostScript] を使用するときは、[オプション] タブの「PostScript :」プルダウンメニューから [Adobe PostScript] を選択してください。
-

7. 付録

ドライバーの更新と削除について説明します。

ドライバーを更新・削除する

★ 重要

- ドライバーを更新、削除するときは管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- ドライバーを更新するときは、使用するドライバーと同じ機器・種類のドライバーを選択してください。異なる機器・種類のドライバーを選択し、更新するとエラーの原因になります。

↓ 補足

- ドライバーの更新や削除するときに、[ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示されたときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- ドライバーの更新や削除するときに、[Windows セキュリティ] ダイアログが表示されたときは、[このドライバー ソフトウェアをインストールします] をクリックします。
- 最新のドライバーは、販売店にご確認ください。

ドライバーを更新する

プリンタードライバー、PC FAX ドライバーを更新する

1. プリンター ウィンドウを開きます。

- Windows Server 2008 :
[スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。[ハードウェアとサウンド] のカテゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。
- Windows 7、Windows Server 2008 R2 :
[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。
- Windows 8.1、Windows Server 2012/2012 R2 :
デスクトップ画面のチャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- Windows 10、Windows Server 2016 :
[スタート] ボタンを右クリックし、[コントロールパネル] をクリックします。

ドライバーを更新・削除する

[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

2. ドライバーのプロパティを開きます。

- Windows Server 2008 :
更新するドライバーのアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- Windows 7/8.1/10、Windows Server 2008 R2/2012/2012 R2/2016 :
更新するドライバーのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。

3. [詳細設定] タブをクリックします。

4. [新しいドライバー...] をクリックし、[次へ] をクリックします。
5. [ディスク使用...] をクリックします。
6. [参照...] をクリックし、更新するドライバーの収録先を指定します。
7. [OK] をクリックします。
8. 使用する機器を選択し、[次へ] をクリックします。
9. [完了] をクリックします。
10. [適用] をクリックします。
11. [OK] をクリックして、プロパティを閉じます。

PPD ファイル (OS X)、TWAIN ドライバーを更新する

PPD ファイルや TWAIN ドライバーを更新するときは、旧バージョンのドライバーを削除してから、最新の PPD ファイル、TWAIN ドライバーをインストールしてください。削除については、P. 51 「ドライバーを削除する」を参照してください。

ドライバーを削除する

プリンタードライバー、PC FAX ドライバーを削除する

Windows Server 2008

1. [スタート] メニューからコントロールパネル、[プリンタ] をクリックします。
2. 削除するドライバーのアイコンを右クリックし、[削除] をクリックします。
3. プリンターウィンドウのエリア内で右クリックし、[管理者として実行] をポイントし、[サーバーのプロパティ] をクリックします。
4. 削除するドライバーを選択し、[削除] をクリックします。
5. [ドライバとドライバパッケージを削除する] を選択し、[OK] をクリックします。
6. 確認ダイアログが表示されたら [はい] をクリックします。
7. [削除] をクリックします。
8. [OK] をクリックします。

7. 付録

9. [閉じる] をクリックしてプロパティを閉じます。

Windows 7/8.1/10、Windows Server 2008 R2/2012/2012 R2/2016

1. [スタート] メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows 8.1 または Windows Server 2012/2012 R2 のときは、デスクトップ画面のチャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

Windows 10 または Windows Server 2016 のときは [スタート] ボタンを右クリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

2. 削除するドライバーのアイコンを右クリックし、[デバイスの削除] をクリックします。
3. 確認ダイアログが表示されたら [はい] をクリックします。
4. 任意のアイコンをクリックし、[プリントサーバープロパティ] をクリックします。
5. [ドライバー] タブをクリックします。
6. [ドライバー設定の変更] が表示されたときはクリックします。
7. 削除するドライバーを選択し、[削除...] をクリックします。
8. [ドライバーとパッケージを削除する] を選択し、[OK] をクリックします。
9. 確認ダイアログが表示されたら [はい] をクリックします。
10. [削除] をクリックします。
11. [OK] をクリックします。
12. [閉じる] をクリックしてプロパティを閉じます。

PPD ファイルを削除する (OS X)

1. システム環境設定を起動します。
2. [プリンタとスキャナ] をクリックします。
3. 削除する機器を選択し、「-」ボタンをクリックします。
4. [プリンタを削除] をクリックします。

TWAIN ドライバーを削除する

1. アンインストーラーを起動します。
 - Windows 7、Windows Server 2008/2008 R2 :
[スタート] メニューから [コントロールパネル] をクリックし、[プログラムのアンインストール] をクリックします。
 - Windows 8.1、Windows Server 2012/2012 R2 :
デスクトップ画面のチャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[プログラ

- ムのアンインストール] をクリックします。
- Windows 10、Windows Server 2016 :
[スタート] ボタンを右クリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[プログラムのアンインストール] をクリックします。
2. TWAIN ドライバーを削除します。
- Windows 7/8.1/10、Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2/2016 :
 1. 削除するドライバーを選択します。
 2. 右クリックし、[アンインストールと変更] または [アンインストール] をクリックします。
3. 画面の指示に従い削除を実行します。
4. アンインストーラーを閉じます。

商標

Adobe、PostScript、PostScript 3 は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

Autodesk、AutoCAD、AutoCAD LT は、米国および／またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。

Macintosh、Mac OS、および OS X は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows® 7 Home Premium
 - Microsoft® Windows® 7 Professional
 - Microsoft® Windows® 7 Ultimate
 - Microsoft® Windows® 7 Enterprise
- Windows 8.1 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows® 8.1
 - Microsoft® Windows® 8.1 Pro
 - Microsoft® Windows® 8.1 Enterprise
- Windows 10 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows® 10 Home
 - Microsoft® Windows® 10 Pro
 - Microsoft® Windows® 10 Enterprise

7. 付録

Microsoft® Windows® 10 Education

- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2008 Standard

Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise

- Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise

- Windows Server 2012 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation

Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials

Microsoft® Windows Server® 2012 Standard

- Windows Server 2012 R2 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Foundation

Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials

Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard

- Windows Server 2016 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter

Microsoft® Windows Server® 2016 Standard

Microsoft® Windows Server® 2016 MultiPoint® Premium Server

Microsoft® Windows Server® 2016 Essentials

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

索引

-F-	オプション構成の設定 (PC FAX) 39
FAX ドライバー	オプション構成の設定(プリンタードライバー) 27, 49
-H-	-し-
HDI ドライバー	収録ソフトウェア 5
-I-	商標 53
IPP ポート	-す-
-L-	スキャナードライバー 33
LPR ポート	-せ-
-O-	接続方法の確認 11
OS X で使用するときの注意	-そ-
-P-	双方向通信 27
PC FAX	-と-
PostScript 3	ドライバーの更新 50
PPD ファイル (OS X)	ドライバーの削除 50, 51
-R-	トラブルシューティング (USB 接続) 44
RPCS	-ね-
RP-GL/2	ネットワーク接続 11, 15
-S-	-ふ-
Standard TCP/IP ポート	プリンタードライバー 5, 15, 24
-T-	プリンタードライバーと同じポートを指定する 35
TWAIN	プリンターの登録 48
-U-	プリントサーバー 12, 22
USB 接続	プロパティの設定 (PC FAX) 38
-W-	プロパティの設定 (プリンタードライバー) 27
WSD ポート	-ほ-
-い-	ポートの指定 16
印刷設定	-よ-
印刷ポート	用紙の設定 27
インストーラー	-ろ-
-え-	ローカル接続 12, 24
英語環境で使用するときの注意	
-お-	
おすすめインストール	

索引

2018年3月